



志津南

9月号 news

志津南ホームページ
https://shizu373.net

志津南学区の人口 (6/30 現在)
世帯数 2,589 総人口 6,827 人
前月より + 10 人

発行
志津南学区まちづくり協議会
TEL 077-563-6206
FAX 077-558-6810
E-mail shizu373@machikyuu.jp

学区コーディネート問題に迅速対応

複数町内関連案件に一括対応

志津南学区まちづくり協議会(四方道治会長)は、環境美化・交通安全各コーディネートなどがまちの諸問題について、迅速に対応を進めています。

危険箇所を洗い出すための「まち歩き」を企画し、7月末13町内会全て



より書面の結果報告を受けました。路面標示の改善や交差点の安全確保必要箇所、雑草等による通行支障箇所、防犯灯・防犯カメラ必要箇所など、詳細な内容となっております。各町内会と連携し市への改善要望に繋げるなどの早急な対応、また今後の改善検討基本情報として活用していきます。

環境美化では8月6日、若草地区の児童公園3か所(若草中央・若草東・若草西)の藤棚の剪定を、市公園事務所に一括要

望を出しました。従来、町内の一斉清掃で対応してきたものですが、住民の高齢化などもあり危険が伴うと判断しました。早速9日には、ロクハ公園事務所の4人が作業をしてくださ



若草西公園藤棚 作業前(上)・作業後(下)

準備進む子どもスポーツフェスタ

子どもスポーツフェスタ実行委員会(森本篤人事務局長)は、10月26日(日)の「第一回志津南子どもスポーツフェスタ」開



昨年の「子どもフェスタ」風景

催に向けて準備を進めていたが、このほど内容の詳細が決定しました。

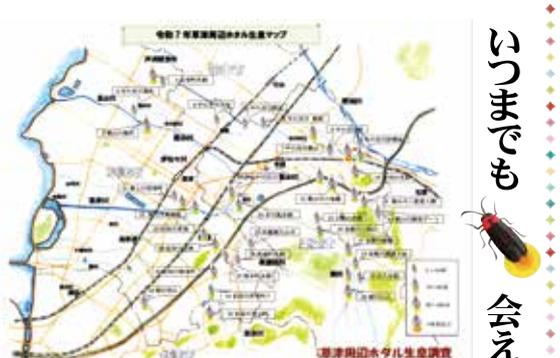
メインのスポーツ体験コーナーは10種目あり、おなじみのフリースロー、ストラックアウト、グラウンドゴルフに加え、最近流行りのモルックやポッチャなども計画しています。ぜひ体験してみてください。

模擬店、遊び体験コーナーは従来とほぼ同じですが、新しいところでは、アロマ香るスライム・ネイルオイル・リップバームのワークショップ(有料)や

似顔絵コーナー(有料)、山寺工業団地の企業からアルミホイールを使った工作(無料)、ゴミ問題を考える市民会議より3Rクイズ(無料)などがあります。

今回はステージ、フリーマーケットコーナーはありません。詳しくは、10月1日に配布される開催案内チラシをご覧ください。チラシ裏面にはスタンプカードが付いています。無料体験コーナーを回ってスタンプを集めるのも一つの楽しみになると思います。カードを受け付けに提示していただいた先着500人に、ささやかな景品をプレゼントします。

「草津でホタルを楽しむ会」(鈴木道弘代表から、今年も「草津周辺ホタル生息マップ」が届きました。マップ図。

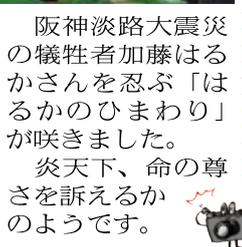


り、木洩れ日が通るほどのよい状態になりました。中央公園については、昨年度若草五丁目町内会から要望を受けて対応していきます。

「いつまでも会えますように」 ホタルは人里昆虫と言われ、人間の暮らしに寄り添って生息している生き物です。近年、人間の暮らしが大きく変わってきたため、ホタルはその環境変化に合わせ、飛翔時期や時間、場所を少しずつ変えて必死に生き続けています。

5月19日から6月17日まで、天候の悪い日を除いた19日間、20時前から22時過ぎまで自転車で、草津周辺のホタル生息状況を調査されたそうです。志津南の伯母川沿いでは100匹くらいが確認されています。

「いつまでもホタルたちと出会えますように。飛翔期には、ご家族や地域の方々やホタル観察に出かけていただければ嬉しいです」と話されました。



阪神淡路大震災は「尊厳の犠牲者をひたすら救う」という思いが、被災者を救うために、命を懸けて、尊厳を訴えるように。

お出かけドクター迎えフレイル学ぶ

熱心に講演に耳を傾ける参加者



き、かかりつけ医普及促進事業「お出かけドクターとお気軽トーク」講演会を実施しました。うだるような暑さのためか出足が伸びず、参加者は予定より少ない18人でした。

講演は「フレイルとその予防」と題し、フレイルの説明に始まり身体的・精神心理的・社会的フレイルの関係や運動がもたらす効果について話されました。質疑応答では、QOL、高齢者のBMI、高血圧方イドライン、ばけ予防、ウォシュレット

追分南町内会(岡島謙二会長)は7月24日、追分南会館で眞下草津病院の下郷司院長を招



県優勝に盛り上がる団員

「消防団」の活動をご存じですか。草津市には9つの分団があります。草津と志津南学区を活動範囲としているのは「第二分団」で、約25人の団員中当学区在住・出身者が8人います。毎月17日には地震広報活動を実施しています。阪神淡路大震災翌年にスタートし30年経ちますが、地震の備えや火の用心を

呼び掛けながら町内をパトロールします。毎月20日の消防ポンプ車やエンジンカッター等の機械点検も欠かせません。火災・水害現場へはもちろん、行方不明者探しに出勤したり、台風接近時には青地にある話所に待機していざに備えてもいます。それぞれの仕事を持ちながら、日頃から健康管理に留意し、ポンプ車などの操作訓練を繰り返しています。7月27日に実施された第60回滋賀県消防操作訓練大会「ポンプ車操法の部」で、草津市消防団が県優勝を果たし、大いに盛り上がりました。団員を募集しています。18歳以上で関心のある方は、消防署までお問い合わせください。

使用上の注意等、幅広い内容の質問が出ましたが、一つ一つ丁寧に回答していただきました。高齢者中心の参加者に適した内容であったため理解しやす健康話に盛り上がりました。

講演会後、参加者同士互いの

卓球・モルックをわくわく体験



真剣な表情で球を打つ小学生

みっ子わくわく体験教室2025夏」を実施しました。

一回目は「卓球を楽しもう」。12人の小学生が参加し、自主教室「ピンポンクラブ」の会員を先生に迎えました。

全員でラジオ体操の後、ラケットの持ち方や振り方を教えてもらい、グループに分かれて卓球体験を行い、子ども達はどんどん上達していきま

志津南まちづくりセンターは7月31日と8月7日の両日、小学生を対象にした「しづみな二回目は「モルック体験」。

防災金属パイプ



防災関連情報

志津南まちづくりセンターに防災金属パイプ(直径5cm、長さ3m)が3本購入配置されました。写真。

これは地震でブロック塀等が倒壊し、人やモノが挟まれてくるような場合の救出に役立つことができます。

これまでも被災現場で、堅い角材などを支点として、この原理で倒壊したものを持ち上げるような鉄パイプが活躍したそうです。



小学生5人が、地域サロン「本西サロンの会」に教えていただきました。

先生からルールを聞いて、2チームに分かれてゲームスタート。50点を目指す競技ですが、一方のチームがあっという間にピタリ50点になって、大歓声が上がりました。

両日「またやりたい人？」の質問に、みんな笑顔で手を挙げてくれました。

元気に夏のお楽しみ会



かがやきの丘「ふれあい広場」(堂本直美代表)は7月30日、町内会館さくらで「夏のお楽しみ会」を開催しました。写真。

夏休みに入り暑い日が続いていましたが、元気な子どもたち40余人が集まりました。

金魚すくいや、会場内のあちこちに貼ってある絵や数字などどんちをいかした面白い難問クイズに挑戦し、解けると思わずハイタッチ。

マス目のカードに夏を題材にした言葉を書き入れて作る手作りビンゴゲームで盛り上がりました。最後に力キ氷を食べ、楽しいひと時でした。



今月の志津南文庫



数は無限の名探偵作・青柳碧人他4名 朝日新聞出版



この世からゼロが盗まれた。「算数・数学で謎を解く」をテーマにした5つのミステリー。はやみねかおる、井上真偽など5人の作家が描く珠玉の作品。

ゆうびんやさんのコッリさん 中川ひろたか 講談社
 処方箋のないクリニック 山川環 小学館
 神秘的で美しい花図鑑 山田隆彦 ナツメ社
 材料入れて煮るだけレシピ 市瀬悦子 主婦と生活社
 栗原心平のこべんとう 栗原心平 山と溪谷社

他

興味津々楽しく学ぶ

志津南小学校(丹羽浩之校長)では、児童たちが伸び伸びと様々な学習に挑戦しています。

湖上からの景色に感動

五年生を対象としたフロートインクスクールが、7月28日、29日の二泊二日で実施されました。今年度は、滋賀県立草津養護学校児童と一緒に乗船しました。

一日目は、甲板で琵琶湖大橋を下から見上げたり、多景島を展望したりしました。長浜港に到着後、ヤンマーミュージアムへバスで移動し、施設内のアトラクションを班ごとに楽しみました。その後、船へ戻り、「湖の子」の夕べの時間を草津養護学校の友だちと共に行いました。互いの学校紹介を



甲板から琵琶湖を展望する児童達

したり、ポッチャ大会を行ったりと交流を深めました。二日目は、琵琶湖の水の透明度調査や湖底の堆積物の比較、水中のプランクトン観察等にも取り組み、「湖上の学校」ならではの学習に、興味津々の様子

季節の彩



ハイキングに出かけた山の小道のわきに、濃い小さい紅色がびっしりとかたまりになって垂れ下がり、風だか人の気配だかに少しをよぐ花を見つけました。

秋の七草の一つ、マメ科の萩。なりました。(おくらんぼ)

派手さはないけれど素朴なやさしさを感じ、思わず「可愛い」と声になりました。帰路はいくらか足取りも軽くなりました。(おくらんぼ)

でした。

湖上から見る景色に驚きと感動を味わい、琵琶湖との触れ合いを通して、湖や山々などの自然に囲まれた滋賀県で



くるみ子ども園だより

緑波くるみ子ども園(服部登志夫園長)から、笑顔が弾ける夏の絵日記が届きました。



冷たい水に大はしゃぎ

7月25日・8月1日 幼児クラス147人が、2日に分かれて、上桐生キャンプ場で親子の川遊びを行いました。猛暑の中でしたが、川の水は驚くほど冷たく、木陰でのお弁当も心地よく、楽しい一日になりました。

生活していることの良さを感じました。その自然を守るために、自分は何ができるかということを考える、貴重な体験となりました。

楽しく英語体験学習

二年生児童が7月15日、学級活動の時間に、「英語に親しもう」という、外国語に触れ合う体験学習を行いました。写真。三年生になると外国語活動の学習が入ってきます。その学習に向けて、少し早く英語に親しむ機会を持つとうという目的で実

生活していることの良さを感じました。その自然を守るために、自分は何ができるかということを考える、貴重な体験となりました。



8月1日

春に卒園した一年生が、夏休みを利用して園に帰って来てくれました。小学校の様子を話してくれたり、一緒にゲームやプール遊びをしたりして、在園の子ども達は大喜びでした。



一年生も気分は園児?

施しました。

英語を専門にされている講師を招き、歌やクイズ、絵本の読み聞かせ等を通して、英語に楽しく触れることができました。

英語の歌を歌う時は、ジェスチャーを交えながら歌うよう声をかけられたり、動物の鳴き声クイズでは、日本と英語圏の動物の鳴き声の表現の違いを伝え

猛暑も吹き飛ばす歓声



たりしながら、楽しく活動できるように指導していただきました。また、子どもたちの発言を拾い上げながら授業を進めていただいています。

二期にもう一度、「英語に親しもう」の学習を計画しています。少しでも外国語に触れる機会を持って、三年生の学習を迎えてほしいと思います。

「スライカ割り」「魚釣り」の4つに分かれて、夏のゲームに挑戦しました。ビーチボールのスライカ割りゲームでは友達の応援に張り切って思い切りたたいてボールを飛ばしたり、魚釣りコーナーでは1分間に15種類の魚を釣り上げたり。会場のあちこちで歓声が上がって盛り上がり、猛暑も吹き飛ばすようでした。

まだゲームに参加できない乳幼児は、すくすくコーナーで絵本の読み聞かせや手作りおもちゃ、スパーボールすくい楽しく遊びました。最後はみんなでかき水を食べてほっこりとした時間となりました。また自主的に片付けを手伝ってくれた高学年の子どもたちがいて、スタッフは大感激しました。

次回12月にクリスマス会を予定しています。

楽しそうに江州音頭を踊る学級生



童心にもどる「夏まつり」

志津南まちづくりセンターは7月23日、第3回やすらぎ学級「ミニ夏まつり」を実施しました。

猛暑が続く中、サロンや会議室を夏祭り仕様に飾り付け、24人の学級生は夏祭りの雰囲気や交流をひととき楽しめました。

お祭りの最後は、村上陽子さん(若草一)の指導で、江州音頭を踊りました。最初は見様見真似でしたが、汗をかきながら笑顔で楽しく踊りました。

人権講座開催します

志津南区人権教育推進委員会(守本正次委員長)は次の要領で、町内学習懇談会推進者研修会「第3講座」を実施します。

- ▽日時 9月27日(土) 10時~11時15分
▽場所 志津南まちづくりセンター大会議室
▽講師 草津市同和教育啓発講師団 小林充弥氏
▽問い合わせ先 志津南まちづくりセンター 電話(563)6206



10月イベントのご案内

10月に女性ワークショップと福祉セミナーを開催します。詳細は町内回覧、掲示板でご案内中です。皆さんのお申し込みをお待ちしています。



「ごみ袋引換券有効期限」お手元の「草津市指定ごみ袋引換券」(緑色)の有効期限は9月30日(火)です。期限を過ぎると引換券は使用できません。10月1日(水)以降は、9月上旬から順次配布される引換券のみが有効です。

二胡の音色に癒されて



プルな楽器ですが、人の心を癒す繊細な音色を奏でます。3曲ほど演奏を聴き、その後

オリジナル紙芝居楽しむ



地域サロン「かがやきの丘なごみ会」(浅野謙一代表)は7月17日、町内会館さらいでボランティアの山口隆司さんを招き、中国の伝統的な楽器二胡の体験をしました。写真。

笑い声の絶えない演目1作目



地域サロン「若草一味クラブ」(菊川洋祐代表)は7月18日、メンバーの秋山謙二さんのオリジナル紙芝居を楽しみました。グラウンドゴルフで暑さを吹き飛ばした後、25人が若草第五集会所で開所中の「お茶の間」を訪れ、茶菓の接待を受け楽しい時間を過ごしました。演目第1作目は「みんな

で仲良くグラウンドゴルフ。プレー中に起きるハプニングの様子を描かれたストーリーで、作者が橋幸夫・加山雄三さん役を担当、女性メンバー2人が黒柳徹子・和田アキ子さん役で加わり、4人の軽妙なやり取りが面白く笑い声が絶えませんでした。2作目の「子燕のお礼」は胸にしみる話でした。演目終了後、話も弾み平均年齢75歳前後の会員仲間はパワフル全開でした。

女性ワークショップ「笑いヨガ」女性同士の交流のきっかけとなる場として、女性ワークショップを10月18日(土)、まちづくりセンターで開催します。今回は「笑ってほっこり、笑って元気」体の健康につながる笑いヨガを体験します。この体操は腹式呼吸により血行が良くなり免疫力アップが期待

第1回福祉セミナー「在宅医療の現状と取組み」10月30日(木)、あおあお在宅クリニック後藤院長をお招きし、まちづくりセンターで開催します。高齢化社会に必要とされる在宅医療について専門医からお話を聞き、訪問診療について一緒に考えてみましょう。